※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　学共生科

教科	学共生	科目	(学)スポーツと文化Ｃ	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	無し						
副教材等	無し						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、主体的に活動に参加し、集団行動や規律を守ることを大切にします。
・また、周りと協力し、健康・安全を確保しながら技能や体力を高め、勝敗を競う喜びや楽しさを味わうこと活動を行います。
・体育館や室内で活動するための体育館シューズ（学校指定のものもしくはバスケットボールシューズ）を準備してください。

2　学習の到達目標

・競技を通じ、ルールや健康・安全に関する知識を理解するとともに、運動を合理的、計画的に実践する技能を身に付ける。
・チーム競技を行うことで、チームワークや協力するための課題解決や運動計画を工夫し、発表、表現することで他者に伝える力を養う。
・集団行動・規律を守ることを意識して主体的に取り組むことによって、チーム競技を行う態度や、観戦レベルの向上を図るとともに、運動の楽しさや喜びを味わう態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項及び生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論について理解している。 運動の合理的な実践を通して、運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。	生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して、自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫している。また、それらを授業で発表・表現することができる。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2" colspan="2">学習内容</th><th rowspan="2">単元（題材）の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="6">半期</td><td>オリエンテーション</td><td colspan="2">授業規律
評価方法の説明
バスケットボールとは
ボールハンドリング
ルール</td><td rowspan="6">a：各種目において必要な技能を習得している。用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げることができる。

b：技能習得において、自分や仲間の課題を発見し，他者に伝えることができる。 仲間と協力する場面で，分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。

c：健康安全に留意して積極的に取り組もうとしている。フェアなプレーを守ろうとしている。</td><td rowspan="6">ワークシート、観察</td><td rowspan="6">実技テスト
観察</td><td rowspan="6">振り返りシート、観察</td></tr>
<tr><td>基礎練習①</td><td>個人</td><td>ドリブル
パス
シュート</td></tr>
<tr><td>基礎練習②</td><td rowspan="2">対人</td><td>ドリブル
パス
シュート</td></tr>
<tr><td>基礎練習③</td><td>1 on 1
2 on 2
3 on 3
4 on 4
5 on 5</td></tr>
<tr><td>対人練習</td><td colspan="2">チーム OF,DF の仕方
スペースの使い方、
ゲームの進め方</td></tr>
<tr><td>ゲーム</td><td colspan="2">5 on 5
（オールコート）</td></tr>
</table>

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度